

MEIJI MURA

明治村だより

Vol.65 2011 Autumn



学習院長 官舎保存修理工事の概要 … 2

郵便創業140周年記念特別展

近岡善次郎 明治の西洋館 切手原画と水彩画展 … 4

特別展

「明治村と子規・真之・好古」 …… 5

明治村写真コンテスト誌上展覧会 …… 6

秋の催しもの …… 8

A La Meiji-mura …… 10



宇治山田郵便局舎（重要文化財）
建設年 明治42（1909）年
伊勢神宮の遷宮に合わせ、伊勢神宮外宮前に建てられた。局舎の設計は通信技手の白石圓治、監督は石渡善三郎で、中央にドームの屋根をいただき、外壁はハーフトンパー様式の一際目を引き、華麗なものである。



東京駅警備調査派出所
建設年 大正3（1914）年頃
東京駅の開業に合わせ、駅舎のデザインと調和を図るよう意識して設計された。外壁はレンガではなく化粧レンガを用いており、当時最先端の仕様であった。国貨などの利用が多い東京駅を護るため、10人を越える巡査が詰めていたといわれる。

表紙 近岡善次郎画
近岡善次郎
大正3（1914）年～平成19（2007）年
山形県新庄市出身。「一水会」所属。日本各地の300ヶ所以上を回って「明治の西洋館」を描いた。博物館明治村にはそのうち100点が2回にわたって寄贈された。

平成 23 年 9 月 17 日発行

「明治村だより」第 65 号（平成 23 年 秋）

発行 博物館明治村

〒484-0000 愛知県大山市内山一番地

電話（0568）67-0314

http://www.meijimura.com

製作 大日本印刷株式会社

「明治村 だより」第 66 号発行のお知らせ

発行時期 平成 23 年 12 月中旬（予定）

申込方法 「明治村だより」第 66 号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料 140 円切手とともに封書にてお申し込み下さい。

学習院長 官舎保存修理工事の概要

学習院長 官舎は平成23年6月13日より保存修理工事に着手しています。ここでは、今回の修理工事の概要とこれまでの調査で判明したことをお知らせ致します。

学習院長 官舎は明治四十二（一九〇九）年、学習院大学の目白キャンパスに建てられました。設計者は、学校建築の名手として名高い久留正道、施工者は石井権蔵です。学習院大学が目白キャンパスを整備したのが明治四十一（一九〇八）年であり、本建物は院長の官舎としてキャンパス計画の一環と

して計画されたことが知られています。尚、創建当初の学習院長は陸軍大将の乃木希典でした。昭和三十七（一九六二）年に幼稚園建設のため解体、昭和三十九（一九六四）年、博物館明治村へ移築復原されました。

本建物はいわゆる和洋館並列型、木造二階建の邸宅建築であり、洋館部分に和館部分が接続する形式をとります。洋館部分、和館部分とも外壁は下見板が張られますが、洋館部分は箱目地下見板張、和館部分は鯉子下見板張と様相を違えています。また、玄関には鑄鉄製の大きな庇が設けられ、庇中央部には学習院の校章である桜花の文様が施されています（写真1）。

さて、このような学習院長 官舎ですが、博物館明治村に移築復原されてからは、昭和五十七（一九八二）年に屋根葺替、樋修理、床組の補強等の工事が行われた他は、大きな修理工事が行われていませんでした。近年では、深刻な雨漏が発生しており、建具の老朽化、とりわけ、洋館、和館とも外壁下見板の劣化が著しい状態でした。通常、保存修理工事においては、使用可能な材料はそのまま継続して再利用しますが、外壁の下見板については、相当の部分を取り替える必要があると判断されました。とりわけ和館部分の下見板については全数に近い部分を取り替えずにはならないほど、割れ、欠損、反り、腐朽等が確認されました。外壁の状況が悪いものですから、深刻な雨漏は、屋根面からのものだけではなく、壁面からのものも原因として挙げられ、侵入した雨水は建物内部の壁面にまで染み出

るという状況でした（写真2、3、4）。

今回の修理工事の内容は、上記に説明したように外壁下見板の取替はもちろんのこと、土台等腐朽した木部の取替、屋根軒瓦の改修、樋の全面取替、東面一文字銅板葺庇の葺替、洋館上げ下げ窓の修理、外壁部分の塗装修理、建物内部の壁面修理、床組の補強等が挙げられます。修理工事の準備と並行してこれまで過去の資料、現状における痕跡の調査などを行なうてまいりましたが、これまでの調査において判明した点のうち、いくつかを以下にご紹介いたします。

まず、本建物の創建時に近い時代の様相を知ることができ資料として大正十二（一九二三）年に作成された院長官舎平面図があります（図1）。この平面図を見ると、現在の建物は和館部分が途中で分断されて移築されていることがよくわかります。また、一階の勝手場部分も移築時に若干変更されています※1。



写真2 東面洋館下見板の劣化



写真3 西面和館下見板の劣化



写真4 一階廊下雨漏りによる壁面の劣化

り、これは移築時に施された塗料による塗膜がこれまでの風雨で劣化して流された結果、その下部にある弁柄が発色してきたものと考えられるからです。今回の修理工事においては、創建時から解体時までに行われたであろう弁柄洪塗を尊重して、これを再現すべく計画しております。ただし、弁柄の成分で作ることのできる色調は、赤黒いものから茶系、また鮮やかな赤色と非常に幅広く、再現すべき色調は今後、下見板を解体し、残された痕跡を注意深く確認した上で決定していきたいと考えています。

修理工事を行う場合、細かな仕様を決定するのに長い時間を必要とする場合があります。一つ一つの

※1 勝手場の解体時の写真は、ほぼ上記の図面通りであり、移築に勝手場の窓回りが変更されたものと考えられる。

※2 一階洋間の壁面は戦後に壁紙仕上げ改められ、解体時まで使用されたものと考えられる。現在の壁紙は、解体時の壁紙の柄を踏襲したものであり、移築時に張られたものであることが判明している。一方、和館二階の廊下は現在、畳敷であるが、床梁を下げた形跡があり、創建時から解体時までには薄縁敷から畳敷へと改められたものと考えられる。

※3 弁柄の成分は洋館及び和館の下見板より検出された。また洋館部分は建具枠、上げ下げ窓にも弁柄色が残されており、雨水のかかりにくい、軒または胴蛇腹の下見板に顕著であった。また、この弁柄成分は雨水に流された形跡もあり、基礎石材部分においても所々に弁柄色の痕跡が確認された。



写真1 修理前南側全景



写真5 南面洋館下見板に残る旧塗膜の痕跡

れた時期は、おそらく創建時から解体時までのある時期ではないかと推測しています。というのも、現在の弁柄色の痕跡は、近年になって発色してきたものであ

図1 院長官舎平面図（大正12年作成「関係図面録内匠寮」宮内庁書陵部 蔵）

特別展 「明治村と子規・真之・好古」

協力／松山市 松山市立子規記念博物館

●展示期間：10月30日（日）～平成24年1月15日（日）（初日はオープニングの後11：30ごろから開場）

●展示会場：三重県庁舎1階特別展示室

博物館明治村はスペシャルドラマ「坂の上の雲」のロケ地となり、数多くのシーンがここで撮影されました。その所縁から昨春秋に、『坂の上の雲』の街 松山（愛媛県松山市）にある松山市立子規記念博物館のご協力を得、「秋山真之と正岡子規展」を開催させていただきました。

本年は博物館明治村と松山市がともに「明治」をコンセプトとした事業を展開していることから、さらなる協力関係を構築していくこととなりました。また松山市立子規記念博物館が開館30年を迎えることから、特別展「明治村と子規・真之・好古」開催の運びとなりました。

今回の展示は「坂の上の雲」の主人公で、松山が生んだ俳人で近代文学の牽引者ともいえる正岡子規と、秋山真之・好古兄弟をご紹介しますとともに、俳人・子規のもとに集った人々と、彼らと明治村に移築されている建物との所縁をご紹介します。

特別展 郵便創業140周年記念

近岡善次郎 明治の西洋館 切手原画と水彩画展

●展示期間：平成23年9月17日（土）～11月27日（日）

●展示会場：宇治山田郵便局舎内

本年は、郵便事業が明治四（一八七二）年に創業してから、一四〇周年をむかえます。博物館明治村ではこれを記念して、日本郵政株式会社郵政資料館所蔵の近岡善次郎が手がけた昭和五十六（一九八一）年発行の「近代洋風建築シリーズ」切手原画を特別にご出品いただきます。さらに、博物館明治村所蔵の近岡善次郎による明治の西洋館を描いた水彩画作品から郵便事業に関連する建物や郵便創業時に竣工した建物が描かれた作品を紹介いたします。展示会場となるのは近岡が作品にも描いた宇治山田郵便局舎（重要文化財）です。

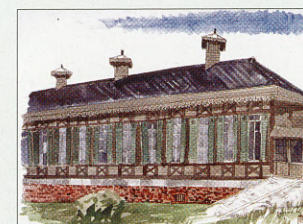
「近代洋風建築シリーズ」の記念切手の図案の選定には、博物館明治村二代目館長の関野克や三代目館長の村松貞次郎が関わっており、博物館明治村とは非常に関わりの深いものです。全国津々浦々の明治時代の西洋館の中から選ばれた二〇件の建造物のうち、博物館明治村に移築されている建造物からは「西郷従道邸」「聖ヨハネ教会堂」が図案に選ばれました。

切手原画を描いた近岡善次郎（大正三（一九一四）年―平成十九（二〇〇七）年）は、山形県新庄市に生まれ、亡くなるまで全国三百箇所以上の明治の西洋館を訪ね、作品に残しました。近岡は描くことで、開発の名のもと取り壊されゆく明治の西洋館の保存を訴えました。

博物館明治村では、近岡の生前、二度にわたり、それぞれ五十点の作品の寄贈を受け、東山梨郡役所二階のギャラリーなどで展示をしてまいりましたが、今回初めて日本郵政株式会社郵政資料館の協力を得て、「近代洋風建築シリーズ」の切手原画とともに展示をいたします。



東山梨郡役所



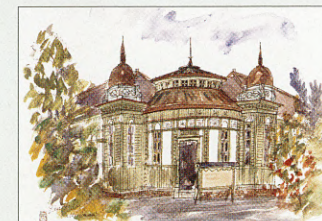
日本赤十字社中央病院病棟



歩兵第六連隊兵舎



金沢監獄正門



宇治山田郵便局舎



東京駅警備巡查派出所

近岡善次郎作品

「郵便創業140周年記念 近岡善次郎 明治の西洋館 水彩画と切手原画展」に併せ、平成24年4月に没後100年を迎える石川啄木に関連したワークショップ「拝啓、石川啄木さま―啄木さんにメッセージを送ろう―」を開催いたします。

石川啄木は近岡善次郎と同じく東北の出身であり、また明治村内には明治42年から44年まで啄木が東京ではじめて家族と共に暮らした「本郷喜之床」（4丁目47番地）が移築されています。

そこで、皆様には思い思いの絵や文章で石川啄木に向けたメッセージカードを作っていただきます。メッセージの内容は問いません。「啄木作品から気に入ったものを書いてみる」「啄木が故郷の風景を詠んだ詩から、思い浮かんだ景色を描いてみる」「自作の詩を書いてみる」など、皆様の想いを石川啄木に向けて届けてみてはいかがでしょうか。（※材料は会場にあります。）

集まったメッセージカードは展示した後、来年4月に岩手県盛岡市の石川啄木記念館にお届けします。皆様のメッセージ、お待ちしております。

協力：財団法人石川啄木記念館

ワーク
ショップ

拝啓、石川啄木さま

―啄木さんにメッセージを送ろう―

日時：9月23日（土）～11月27日（日）

これらの入賞作品は9月10日(土)～11月27日(日)、東山梨郡役所2階で展示いたします。是非ご覧ください。

特選



「ともしび」 後藤和雄



「夜の共演」 平野成明



「昇雲」 横井貞之



「美しさのこす」 神戸直之

明治村写真コンテスト「明治村百景」募集要項

- ・テーマ：明治村を表す作品
明治村の四季折々の美しさや賑わい、
明治村を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子
- ・応募期間：平成23年7月1日(金)～平成24年6月30日(土)
- ・規定：所定の事項を記載した応募票を添付。
一人何点でも応募可(ただし、ひとり一賞)。
カラープリント 四ツ切・ワイド四ツ切(デジタルの場合は
A4サイズも可)。単写真のみ。
デジタルの場合は色彩や明度の調整程度の処理は可。
- ・締め切り：平成24年6月30日(土)(当日消印有効)
- ・表彰式/写真展：平成24年秋を予定
- ・賞：明治村大賞…1点(賞金10万円)
推薦…3点(賞金3万円)
特選…4点(賞金2万円)
協賛会社賞…9点(富士フィルム株式会社、
ハクバ写真産業株式会社
株式会社学研パブリッシングを予定)
- 入選…13点
- ・主催：博物館 明治村
- ・応募先：〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
博物館明治村写真コンテスト係

大賞



「無声堂裏庭雪景色」
大島雅文

明治村写真コンテスト 誌上展覧会

推薦

「雨上がり」 三和 稔



「旅立ちの前に」
大木孝一



「時雨れる踊り場」 奥村和夫



イエズス会のモノグラムが
装飾された聖書

④ 聖フランシスコ・ザビエル

⑤ 聖ヨセフ

花を咲かせた枝
もしくは杖

聖ヨセフは、聖母マリアの配偶者でキリストの養父で、ナザレに住み大工をなすわいといっていました。聖ヨセフは、聖母マリアの持物で純潔を表す「百合」や、花を咲かせた枝もしくは杖、「斧」「鋸」「鉋」「定規」など大工の商売道具、幼子イエスを抱いた姿で描かれることが多いです。花を咲かせた枝もしくは杖は、マリアの求婚者たちが祭司のところに杖もしくは杖を持っていたところ、その中でヨセフの杖もしくは杖にはマリアの夫に選ばれた徴として花が咲いたという伝説によるものです。ここでも聖ヨセフは左手に幼子イエスを抱き、右手には花を咲かせた枝もしくは杖を持った姿で表されています。

金色の鍵は「天国の門」を、銀色の鍵は「地獄の門」を開ける

⑥ 聖ペテロ

⑦ 聖ステファノ

聖ステファノの持物「石」と「ihs」が描かれた僧衣

聖ザビエル天主堂での聖ザビエルは十字架を高く掲げ、聖書と思われる書物を手にしています。本の表紙のモノグラム「IHS」はイエス・キリストを指すモノグラムであるとともに彼の属していた「イエズス会」の紋章に使用されていたものです。

④ 聖フランシスコ・ザビエル

(二五〇六―一五五二)

イエズス会の創立者ロヨラに初期から従った一人で、日本やインドなど東アジアに布教してインド、日本の使徒とよばれています。ナヴァッラのハビエロ城主の子で、彼の名はアッシジの聖フランチェスコから名づけられています。黒髪、短い黒髭をたぐわえ、黒い法衣の上に広袖の短い白衣をはおり、十字架像を胸に抱きしめたり、燃える心臓を公示するように法衣を左右に押し広げたり、清浄無垢の象徴で聖母マリアの持物とされる白百合を持った姿で描かれることが多いです。

⑤ 聖ヨセフ

聖ヨセフは聖母マリアの配偶者でキリストの養父で、ナザレに住み大工をなすわいといっていました。聖ヨセフは、聖母マリアの持物で純潔を表す「百合」や、花を咲かせた枝もしくは杖、「斧」「鋸」「鉋」「定規」など大工の商売道具、幼子イエスを抱いた姿で描かれることが多いです。花を咲かせた枝もしくは杖は、マリアの求婚者たちが祭司のところに杖もしくは杖を持っていたところ、その中でヨセフの杖もしくは杖にはマリアの夫に選ばれた徴として花が咲いたという伝説によるものです。ここでも聖ヨセフは左手に幼子イエスを抱き、右手には花を咲かせた枝もしくは杖を持った姿で表されています。

⑥ 聖ペテロ

十二使徒のうちの第一使徒で、ガリラヤの漁師。一般的には、活気にあふれた老人姿で、青色の衣に黄もしくは金色のトゥニカといわれる衣を羽織り、固有の持物として「わたしは、あなたに天国の鍵を授けよう」(マタイ福音書16:19)という言葉に基づき、一つもしくは複数の鍵を持った姿で描かれています。ここでも左手に「天国の門の鍵」と「地獄の門の鍵」を象徴する二つの鍵を手にしています。

⑦ 聖ステファノ

聖ステファノは最初の殉教者。イエスを殺害した人々を非難したため激しい怒りを買い、石を投げられ殺されました。使徒たちから指名された七名の最初の助祭の一人です。一般的には、若者の姿で助祭の僧衣を身につけ、石を左手に、殉教者を表す棕櫚を右手に持ち、十二世紀以後には、手中、本の上あるいは法衣の裾に、また肩か頭上に殉教具である石が一緒に描かれます。ここでも、若者の姿で、赤いダルマティカ(助祭服)を着用し左手には石を、右手で棕櫚を持った姿で描かれています。

ズームイン!! 聖ザビエル天主堂内陣

普段は近づいてみるできない聖ザビエル天主堂に飾られている聖像を紹介いたします。



● 聖ザビエル天主堂 (五丁目 51 番地)

ンシスコは彼の名にちなんでつけられたものです。

アッシジの聖フランチェスコは絵画などでは、十字架・本・聖痕などとともに描かれることが一般的です。

聖ザビエル天主堂のアッシジの聖フランチェスコ像が纏っている衣袋は、家族から勘当された直後の野良着に荒縄を腰に巻いた質素なもので、身体の前側の三つの結び目は、「清貧・純潔・従順」を象徴した聖フランシスコ会の僧衣の特徴です。

右手には羽毛のペンもしくは勝利の象徴である棕櫚と思われるものを持ち、足もとには死や人生の変転を示す無常の象徴である「髑髏」をおいています。



① アッシジの
聖フランチェスコ

「清貧・純潔・従順」を表わす
三つの結び目



② 洗礼者聖ヨハネ



洗礼を象徴する帆立貝



③ 大天使ミカエル

手にした剣の柄

② 洗礼者聖ヨハネ

洗礼者聖ヨハネは、エルサレム神殿の祭司ザカリヤと聖母マリアの従姉妹エリザベトの息子。イエスに洗礼を授けましたが、古代パレスティナの領主ヘロデ・アンティパスにより投獄されました。ヘロデの弟の妻で、後にヘロデの妻となるヘロディアの娘(サロメ)の素晴らしい踊りの褒美として、ヘロデが彼女に「好きなものを求めよ」と言ったところ、「洗礼者ヨハネの首」を求めたことから、殺害されました。

洗礼者聖ヨハネは「ラクダの皮衣を着、腰に革の帯をしめ、いなごや野蜜を食べる」とする人物であったと聖書に記され、絵画にはイエスを表す子羊とともに Agnus Dei (見よ 神の子羊よ) と描かれた文字や、革の茎でつくられた十字架とともに多く描かれています。

聖ザビエル天主堂の洗礼者聖ヨハネは、荒野の苦行者姿でラクダの皮を纏い、革帯を着けています。足もとには子羊が、左腕に革の茎でつくられた長い十字架を抱え、左手には洗礼を象徴する帆立貝を手にしています。

③ 大天使ミカエル

大天使ミカエルはユダヤ民族の守護天使で、キリスト教では「戦う教会」の聖人とされました。『ヨハネの黙示録』に「ミカエルとその御使たちとが竜と戦ったのである。この巨大な竜、すなわち悪魔とかサタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経た蛇は、地に投げ落とされた。」と記載されています。一般的には、大天使ミカエルは多くの天使と同様翼があり、鎧に身を固め、盾や剣、槍などの武器を持ち、その足で悪魔を踏みつけている姿で描かれ、持物として天秤を手にした姿で描かれています。ここ聖ザビエル天主堂では手に剣の柄のみを持ち、悪魔を踏みつけた像となっています。ヨーロッパでは大天使ミカエルに捧げられた教会や修道院が数多くつくられました。サンミッシェルはその中で最も有名なものの一つです。